

産業建設文教委員会

委員長 綾香 良浩

副委員長 大村 謙吾

委員 池田 稔巳 井元 宏三 神田 全記 辻 賢治
針尾 直美 松尾 実 松口 茂生



委員長報告全文は
こちらをご覧ください。
3月定例会

産業建設文教 委員会 レポート

令和6年度一般会計・水道事業 会計予算、台湾台南市との友好 交流協定の締結などを議論

農地利用効率化等支援 交付金事業

Q 耕種農家のニーズに合った高品質な堆肥を生産するため、堆肥製造や保管に必要な機械・施設の整備に
対し支援する画期的な取り組みである。
今後この事業を継続するために
も資金が必要になるので、生産した
堆肥の販売は考えていないのか。
A 将来的には販売も見据えている
が、堆肥量がどれほどあるか見込め
ていないので、まずは今回の事業主
体（5戸で構成される生産組合）で
の利用を考えている。

道路台帳電子化整備事業

Q 国道や市道など、どこまでの範
囲をどのように台帳として整備する
のか。
A 市道をデジタル化するもので、
国道は対象としない。現在の台帳
は合併前の旧市町村毎に整備されて
おり管理しづらい状態。今回、台帳
を統一して整備することで、WEBで
地図を見ながら閲覧でき、市民の利
便性も上がる。
Q 地域を分けて順次事業を進めて
いくのか。

アルベルゴ・ディフーズタウン 推進事業

Q 今回、平戸城下町エリア・田助
地区エリア・大島村神浦地区エリア
の3地区が選定されているが、まず
は1か所に予算を集中し、その後広
げていったほうが効果的では。
A 3地区の中でも平戸城下町エリ
アを重点モデル地区と位置付けてお
り、このエリアを中心に整備し成功
事例を作っていくべきと考えている。
他地区についてもしつかりサポート
しながら事業の推進を図る。

道路環境整備モデル事業

Q 除草作業をまち協に委託する
のことは、今回モデル地区となっ
た志々伎・津吉・度島地区はどのよ
うに選定したのか。
A 市内の全まち協に意向調査を行
い、手が挙げた地区を選定した。
Q 現在も市道の除草作業に関し
ては平戸市シルバー人材センターや愛
護団体などが行っているが、活動範
囲のすみ分けはどうなるのか。
A シルバー人材センターに委託し
ている路線はこれまで同様に考えて

A まずは、現在紙ベースで管理し
ている台帳をスキャンし全域のデジ
タル化を図る。その後デジタル化し
た地図にさまざまなデータを落とし
込み、出来上がった地区から順次公
開していく。

3次元測量導入事業

Q ドローンによって測量を行うこと
で、効果的な事業と考えるが、事業主体
はどこになるのか。
A 農林整備課が災害の調査を行う
際に導入する。現在は1拠点7〜8
人で作業していたがこの方法を導入
することで2〜3人で対応でき、作
業の効率化が図
られる。調査を
外部委託してい
る箇所もある
が、今後は外部
委託の数を減ら
し職員での調査
を増やしてい
きたい。



新たにチャレンジ 水産経営応援事業

説明 県が実施してきた「持続可能

おり、残りの路線は愛護団体などが
行っている箇所もあるので対象地区
のまち協と協議し決めていきたい。

街なみ景観創出事業

Q 令和6年度は平戸市観光交通ター
ミナルから幸橋までの海岸沿いの街
路灯を電球色化することだが、
対岸の市役所から平戸文化センター
までの街路灯も同じように電球色化
しなければ統一感が出ず魅力が半減
すると思う。今後の計画はあるのか。
A 今後所管課なども協議しなが
ら全体的に一体感が出るようでき
るところから取り組んでいきたい。

公営住宅集約建替事業

Q 公営住宅の集約化が進めば入居
者の転居や空き家となった住宅の解
体が必要となるが、今後どのように
考えているのか。
A 令和6年度は121戸建て替え
対象住宅がある中の20戸を解体する
予定。最終的に令和13年度までに事
業完了するよう、公営住宅建設と
もに入居者の転居も円滑に進むよう
努める。

な新水産業創造事業」の内容が一部
見直され、新規漁法や海業、6次産
業化など新たな取り組みにチャレン
ジするために必要な機器や施設の整
備支援が補助メニューに追加され、
令和5年度から展開されている。
Q 対象者への周知はどのようにし
ているのか。
A 令和5年度からの新規事業であ
り、各漁協にチラシを配布し情報提
供した。今後は平戸市水産振興協
会の会議の際に改めて紹介を行い、
県と一緒に事業の推進を図る。

地域おこし協力隊活用事業

Q 行政側の目的と協力隊員のやり
たいことがうまくマッチングしてい
ないと感じる。ミスマッチが起こら
ないよう募集する担当課は具体的
な業務を示すべき。今回はどのよう
な業務を予定しているのか。
A 地元にも市外企業や移住者を呼び
込むための地域コミュニティマネー
ジャーとして雇用する。地域の活性
化や情報発信拠点（コワーキングス
ペース）の構築準備などの業務を予
定している。募集の目的を明確にし
ていくとともに、適切な人材確保の
ための募集や伴走支援などの業務委
託も併せて行う。

令和6年度平戸市 水道事業会計予算

Q ここ数年水道の有収率（配水量
に対し、実際使用した水量の割合）
が80%前後で推移しているが、水道
局としての目標は。
A 他団体では80%以上の有収率を
保っているところもあるため、90%
に近づけるよう努めていく。

平戸市・台南市 友好交流協定の締結について

Q 友好交流協定の締結だけで終わ
らず、本市と台南市の交流をさらに
推進すべきだと考えるがどうか。
A 令和6年度は青少年交流をメイ
ンに考えている。今後は観光・経済
交流についても、台南市と連携を図
り進めていきたい。

